

講義科目名称： 小児看護学演習

授業コード： 2230200700

英文科目名称： Practice in Child and Family Health Nursing

| | | | |
|------------------------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 3学年 | 1単位 | 必修 |
| 担当教員 | | | |
| ◎山田恵子、◎大久保明子、野澤祥子、小林宏至 | | | |
| | | | |
| 添付ファイル | | | |
| | | | |

| | |
|------|---|
| 授業種類 | <p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】</p> <p>◎山田 恵子</p> <p>◎大久保 明子</p> <p>野澤 祥子</p> <p>小林 宏至</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】</p> <p>215</p> <p>207</p> <p>共同研究室1</p> <p>共同研究室1</p> <p>【大学の科目区分】</p> <p>専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】</p> <p>看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p>○ ◎</p> |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 到達目標 | <p>1. 健康問題を抱える子どもと家族に必要な看護援助の基本と根拠を説明できる</p> <p>2. 子どもの発達段階や状況を考慮しモデル人形を用いて安心・安全な看護技術を実践できる</p> <p>3. 紙上事例を通じて機能的健康パターンの視点で全体像および看護問題を抽出できる</p> <p>4. 健康アセスメントに基づき優先順位の高い看護問題を特定し看護目標や看護計画が立案できる</p> |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>本科目では、ケーススタディやグループワーク、シミュレーションを通して、健康問題を抱える子どもと家族に必要な看護援助を考え実践できる能力を修得する。</p> |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 授業計画 | <p>1 授業内容 授業形態：講義 学習課題：演習オリエンテーション 学習内容：目的・目標、具体的方法、自己課題、グループ課題について 備考：看護過程（事例紹介）</p> <p>2 授業内容 授業形態：講義 学習課題：紙上事例による看護過程の展開 学習内容：看護過程の構成要素・具体的方法・全体像の理解・看護問題の明確化・看護目標と看護計画立案 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：演習 学習課題：検査・治療を受ける子どもの看護技術 学習内容：酸素・吸入・静脈内持続点滴療法を行っている子どもの観察 備考：ユニフォーム着用</p> <p>4 授業内容 授業形態：講義 学習課題：子どもの清潔ケアに関する看護技術 学習内容：乳幼児の清潔ケアの留意点・清拭・陰部洗浄 備考：</p> <p>5 授業内容 授業形態：演習 学習課題：子どもの清潔ケアに関する看護技術 学習内容：乳児の全身清拭 備考：ユニフォーム着用</p> <p>6 授業内容 授業形態：演習 学習課題：子どもの観察技術 学習内容：幼児のバイタルサイン測定をスムーズに行うための計画立案 正確な測定方法・発達段階に応じた声がけ・親の協力を得る際の留意点 備考：グループワーク</p> <p>7 授業内容 授業形態：演習</p> |
|------|--|

| | |
|-----------------|--|
| | <p>学習課題：子どもの観察技術 学習内容：幼児のバイタルサイン測定 備考：ユニフォーム着用、シミュレーション</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学習課題：看護過程の発表 学習内容：紙上事例の全体像・看護問題と根拠・看護目標と立案した看護計画 備考：携帯電話持参</p> |
| 事前・事後学習 | <p>事前学習：小児看護学Ⅰおよび小児看護学Ⅱの授業資料等の復習 既習学習の復習（形態機能学、臨床栄養学、臨床病態学、臨床薬理学、臨床生化学） 子どもの検査・処置に関する看護技術【静脈内持続点滴】pptどこカレへ提示</p> <p>事後学習：小児看護技術のセルフトレーニング、課題レポート （セルフトレーニングする場合は、担当教員に申し出ること）</p> |
| 評価方法、評価基準 | <p>到達目標１の達成度は、課題レポート（20%） 到達目標２の達成度は、課題レポート（30%）、演習態度（10%） 到達目標３および４の達成度は、課題レポート（30%）、演習態度（10%）で評価する。 具体的な内容については、初講時に説明する。</p> |
| 必携図書 | <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 〔1〕〔2〕 医学書院</p> |
| 参考図書・資料等 | <p>資料：ハンドアウトの資料を配布 参考書：荃津智子編著：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程第2版，医歯薬出版，2021. リンダ J. カルペニート著、監訳 黒江ゆり子：看護診断ハンドブック第12版，医学書院，2023. 浅野みどり、杉浦太一、大村知子編集：「発達段階からみた小児看護過程+病態関連図 第4版」，医学書院，2021. 市江和子編著：病期・発達段階の視点でみる小児看護過程，照林社，2021. 山元恵子監修：「写真でわかる小児看護技術 アドバンス」，インターメディカ，2022. 渡邊朋他著：看護の現場ですぐに役立つ小児看護のキホン，秀和システム，2018. 参考DVD：臨床で役立つ小児看護技術：「子どものバイタルサインズ」，京都科学，2007. 臨床で役立つ小児看護技術：「子どもの身体計測」，京都科学，2007.</p> |
| 受講、課題、資料配布等のルール | <p>「小児看護学Ⅰ」および「小児看護学Ⅱ」の単位を取得している者とする。 30分以上遅刻した場合は欠席とする。</p> |
| 教員からのメッセージ | <p>健康問題を抱えた子どもが目の前にいたら、どのように関わりたいと思いますか？ 子どもとの関わり方をイメージしながら、子どもの頑張りを引き出せる看護を一緒に考えていきましょう。</p> |
| オフィスアワー | |